

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	おおすみ児童発達支援センター				公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・1組は、人数や活動内容によって部屋の狭さを感じることもある。 →活動により大部屋を使用する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・度々クラスの職員が1人しかいない時がある。パート職員が入るが、給食時は休憩に入るため足りなくなる。 ・送迎時など職員の数が足りないタイミングがある。 →基準人員+加配人員の確保はできている。 R8年度に職員補充予定。 現在は放デイ、専門士にヘルプをもらっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・現在2階に上がる時は階段しか使用していないが、エレベータを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・利用者が帰った後に振り返りを行うのでその日のうちに振り返りが出来ている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・振り返りの際に職員同士で意見の共有ができてきている。	・なんとか設けているがその時間を捻出するのが難しい。例えば、月に1回利用日を午前中だけにして勤務時間内で会議を設ける等、改善の余地はあると思う。 →月1回の全体ミーティングを継続。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・わからない。 →評価機関での評価は予算の都合上行っていないが、監事監査を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・鹿児島女子短期大学今村講師による応用行動分析の勉強会を実施。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・専門士や保育士と活動の様子を確認しながら検討している。	・このためにも8の話し合い(会議)が必要と考える。 →担当職員とモニタリング、計画見直しを行い、振り返りで共有する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			・このためにも8の話し合い(会議)が必要と考える。 →担当職員とモニタリング、計画見直しを行い、振り返りで共有する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			・個別支援プログラム立案を1人で行うことが多い。(時々相談している) →必要に応じて専門士主任に相談するの続ける。 ・その時間を設けることが必要。 →各クラスで行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・月ごとにカラオケやクッキングなど活動を変えてプログラムを作成している。	・他施設との比較は必要だと思う。 →R8年度に施設見学を毎月2件程度行う予定。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・サブの職員にも内容を伝え、円滑に進むよう工夫している。 ・朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・適宜チームで振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・児発管が行っている。 ・モニタリング前は現場の声を拾っている。	・R8年度はモニタリングをより計画的に行い、支援の向上を目指す。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・専門士が同行している。 ・児発管が行っている。 ・モニタリング前は現場の声を拾っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関連携で園を訪問している。 ・児発管が行っている。 ・モニタリング前は現場の声を拾っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・児発管が行っている。 ・モニタリング前は現場の声を拾っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・情報提供書を作成し、医学心理学相談会へ提出している。 ・児発と放デイの児発管が協力し行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・研修会を開催している。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・9、10、12月に研修を行った。	・わからない。 →年に1回ある子ども部会に参加している。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・わからない。 ・保育園や幼稚園に通っていて困り感やこだわりがあるのに、あえて一緒に交流する意味があるのか。他事業所との交流もどうかと思う。 →利用者全員、並行通園している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者と適宜連絡を取っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・児発管が行っている。	・R8年度にペアレント・トレーニングの研修を受講予定。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・児発管が行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・児発管が行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・児発管が行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・適宜行っている。 ・面談時、相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・見学などで交流を行っている。	・わからない。 →今年度前期に親子教室を3回開催した。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・R8年度の総合避難訓練を寿敬心保育園と合同で行い、自治会長に参加を求める予定。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・家族、職員への周知が十分でない。 →事務所に各種マニュアルを置いてあるので、各自確認をする。 契約時にマニュアルの有無を伝えている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・訓練が十分でない。 →R8年度に保護者への電話連絡訓練を行う予定。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・周知は行ったが研修、訓練はしていない。 →避難訓練を毎月行っている。 R8年度に不審者訓練を計画する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・わからない。 →R8年度に保護者への電話連絡訓練を行う予定。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			